

## 金浦の自然と共生シリーズ②

普段何気なく見ている草花にも、調べてみるといろいろな事が分かっておもしろい。身近にある6~7月頃の草花を紹介します。



ネジバナ

梅雨の前後は特に草の伸びが旺盛で、何度も草刈りをしなければならぬ経験をお持ちの方も多いと思います。草刈中にたまたま出逢うのがこの草花です。別名は「ネジレバナ」

「モジズリ」と言  
って薄いピンク色  
をしています。ギ  
リシャ語で「螺旋：  
らせん」と言われ

るように、螺旋階段のように花びらが付いています。右巻きと左巻きがありその比率は大体1：1です。山野草として人気がありますが、栽培が難しいようです。



ネムノキ (合歡の木)

日当たりを好み、生長が速い典型的な先駆種。山野・原野・河岸に自生。6~7月頃、車で走っていると一番よく目に付き淡い紅色が何とも可愛い。当地ではネムの花が咲いたら小豆を播くと言った農事の指標にされている。



オオキンケイギク

オオキンケイギク（北アメリカ産、キク科の多年生草木）は繁殖力が強く、在来の植物を駆逐してしまうとして「特定外来生物」に指定されています（環境省が2006年に指定）。道路の法面緑化に利用されています。黄色の花が一斉に開花する事から地域住民に親しまれている場合があります。きれいな花なので、私も知らずに株を庭に移植しています。最近、沿道や庭で咲いているのをよく目にします。どんどんと群生して生態系に影響が出るため駆除する動きが出ています。



最近、畑や庭・空き地など、どんどん根を張って何にでも絡みます。除去しても直ぐに芽吹きます。外来種だと思うのですが、どなたか名前を教えてください。



今頃に花が咲きます。健康食材です。この植物の名前は何でしょう？

